



アイデンティティの重要性： リスクからROIへの転換

Okta Identity Governanceでセキュリティ向上と業務改善を推進

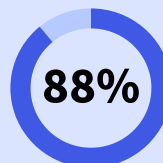
最新のアイデンティティガバナンスは、もはやコストセンターではありません。サイバー攻撃リスクを大幅に減らし、エンタープライズ全体で測定可能な効率性を向上するROIエンジンです。

サイバー攻撃リスクの影響は、セキュリティやITに留まらず、根本的なビジネス課題です。



467万ドル

データ侵害の平均コスト
(2025年)¹



経済的な影響につながる最も一般的な原因は、組織を脆弱な状態にする、不十分なアイデンティティガバナンスです。

基本的なWebアプリケーションの侵害のうち、窃取された認証情報が関与している割合²

新しい2つのレポートでは、最新のガバナンスソリューションで以下を実現できることが明確に示されています。

- 1 経済的に深刻な影響を与えるサイバー攻撃のリスクを大幅に減らす
- 2 効率化を促進し、組織のコストを削減する
- 3 サイバーセキュリティの取り組みで組織がROIを向上できるように支援する

リスクについて読む

Marsh McLennanが、時代遅れのアイデンティティセキュリティのリスク全体を業界および地域別に説明します。



ROIについて読む

Forresterが、最新のアイデンティティガバナンスのROIをビジネス機能別に分析します。



結論

最新のアイデンティティガバナンスはROIエンジン

リスクを軽減



世界の潜在的な年間サイバー損失の削減額：
2,020億～3,060億ドル³

より多くの利益



総利益260万ドル⁴
211%のROI (平均投資回収期間は6か月未満)

最も脆弱な業界



- 情報
- 金融
- ヘルスケア

最も脆弱な地域



アメリカ合衆国

解説

最新のアイデンティティガバナンスが組織全体でどのようにROIを向上するか

最新のアイデンティティガバナンスがもたらす経済的なメリットの大部分は、サイバー攻撃の軽減と防止により実現されます。米国だけでも、エンドツーエンドのアイデンティティセキュリティは、最大810億ドルの潜在的なサイバー攻撃による年間損失を防ぐことができます。⁵ 一方、Okta Identity Governanceのような最新のアイデンティティツールは、組織の技術スタックのあらゆる分野だけでなく、経済面でも測定可能なメリットを実現します。

最新のガバナンスソリューションで実現できる成果⁶

110万ドル

アイデンティティガバナンスの効率性向上



アクセスリクエスト、認定レビュー、エンタイトルメント管理の自動化により、IAMとITサポートチームの負荷を最大60%削減します。

56万7千ドル

プラットフォームの効率の向上



レガシーのツールやコストのかかるコネクタをすぐに利用できる統合機能に置き換えることで、可視性が向上し、ライセンス、コンサルティング、管理にかかるコストを削減できます。

49万7千ドル

生産性の向上



合理化されたユーザーエクスペリエンスと監査に対応した一貫性のあるワークフローにより、遅延を減らし、ビジネスの俊敏性を向上します。

23万2千ドル

監査の準備とコンプライアンスにかかる費用の削減



迅速な証拠収集、問題の削減、コンプライアンス業務における手作業の削減により、効率性を向上します。

Okta Identity Governance

アイデンティティを保護し、コンプライアンスを確実に遵守しながら業務を改善。

適切なセキュリティは、適切なアイデンティティ管理から始まります。Okta Identity Governanceは最新のリスク環境に対応するように構築されており、単一の強力なIdentity Fabric内でオーケストレーションと脅威対策を統合するセキュリティへの包括的なアプローチを実現します。

Okta Identity Governanceが貴社にもたらす戦略的な価値をお知りになりたいですか？ ぜひご相談ください。

ケーススタディを読む



Workdayは、アクセス認定キャンペーンと監査準備のコストをOkta Identity Governanceで約100万ドル削減⁷

¹ IBM 2025年データ侵害のコストに関する調査レポート

² Verizon 2025年度データ漏洩/侵害調査報告書

³ Marsh McLennanとOktaの共同報告書、The Business Case for Identity Security

⁴ ForresterとOktaの共同報告書、The Total Economic Impact of Okta Identity Governance。数値は、集約された複合組織（年間収益15億ドル、5,000件のアイデンティティ、100個のアプリケーション、12人の従業員がアイデンティティとアクセス管理（IAM）、監査サポート、コンプライアンス強化を担当する架空のグローバル企業）の3年に渡るROIに相当します。

⁵ Marsh McLennanとOktaの共同報告書、The Business Case for Identity Security

⁶ ForresterとOktaの共同報告書、The Total Economic Impact of Okta Identity Governance。数値は、集約された複合組織（年間収益15億ドル、5,000件のアイデンティティ、100個のアプリケーション、12人の従業員がアイデンティティとアクセス管理（IAM）、監査サポート、コンプライアンス強化を担当する架空のグローバル企業）の3年に渡るROIに相当します。

⁷ Okta Identity Governance